



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
〔URL〕 <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2023年7月18日

報道関係 各位

～「やさいバス」から生まれたCO²削減の新しい形態～ いちご栽培で生じた副産物を 羊の飼料として活用した三者共同の取り組み

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木 康行）は、ルスツリゾート（加森観光株式会社、本社：札幌市中央区 代表取締役社長：加森久丈）、苫東ファーム株式会社（本社：苫小牧市 代表取締役社長：松井正人）と共同で、いちご栽培で生じた葉やランナー[※]などを羊の飼料として与えるために「やさいバス」でつなぎ、CO²の削減に貢献するサステナブルな取り組みを開始いたしました。

ブランド羊肉である「羊蹄ひつじ」を約 650 頭飼育しているルスツファームでは、冬の期間の長い北海道で年間を通して栄養豊富な飼料を安定して与えるために、生産者と購買者との直接販売を支援する「やさいバス」を通して、いちごの生産・販売を年間で行っている苫東ファームとのマッチングが実現しました。本来不要とされていた葉やランナーが有効活用される取り組みは北海道内で初めての試みとなります。

※ ほふく茎と呼ばれる「つる」のように伸びる茎のこと



写真：いちご栽培で生じた不要な葉やランナーを羊に与えている様子

苫東ファームのいちご栽培で生じた葉やランナーといった生産残渣を、「やさいバス」でルスツファームに運び、羊の飼料として活用することで、栄養価の高い生鮮野菜を年間を通して安定・安価に入手することができ、羊の肉質のさらなる向上が期待されます。一方、苫東ファームは葉やランナーの処理にかかっていたコストの削減に繋がります。両社のマッチングは有用性が高く、生産者と購買者をつなぐ「やさいバス」との連携により、生産残渣の削減のみならず、処理の際に排出されるCO²の削減も実現いたしました。

北海道コカ・コーラボトリングは「北の大地とともに」をスローガンに、どさんこ企業として創業時から地域の課題解決や安全で安心な地域づくりに取り組んできました。本事業では、グループで持つ経営資源を活用し、北海道内の物流を担うほか、生産者や販売店など多くのパートナーとの連携を強化することで、より良い北海道へ向かう好循環への貢献を目指してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・サステナビリティ推進部
担当：平賀 TEL 011-888-2091



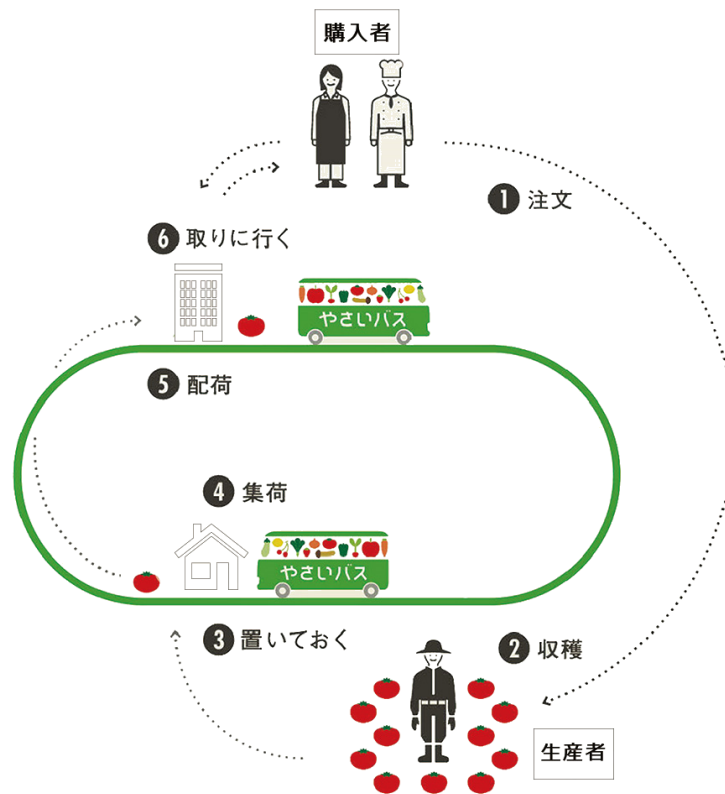
<参考>

■ やさいバスについて

当社は、地域課題の解決に向けた新たな価値創造の取り組みとして、地域物流を担当するグループ会社の幸楽輸送株式会社とともに、やさいバス株式会社（本社：静岡県牧之原市 代表取締役社長：加藤 百合子）と協働して、EC と共同配送の一体型青果流通プラットフォームを実現した「やさいバス」の北海道版を 2022 年 5 月 20 日より開始しております。

「やさいバス」は、EC サイトからの注文に基づき、地域に設定したルートを巡回する専用車両が、企業の建物や店舗、倉庫など様々な場所に設定された「バス停」を介して、生産者による農産物の出荷及び購入者（飲食店や小売店など）への配達を行う新しい流通の仕組みです。直送される農作物は、生産者が考える食べごろのタイミング、食べごろの状態で届けられるため、生産者と購入者、ひいては生活者にも喜ばれる三方良しのサービスです。また、生産者と購入者を直接「つなぐ」ことに加え、物流コスト低減、バス停を介した地域コミュニティの創出、共同配送による環境負荷軽減を実現すべく、企業・行政・地域などが有する資産やサービス、商品などをシェアする「循環型ビジネス」としての展開および拡大を目指します。

<ビジネスモデル>



<売場イメージ>



※大丸札幌店 フレッシュワン